

公益社団法人東京都理学療法士協会
令和4年事業年度第7回理事会議事録

1. 開催日時

令和5年1月13日(金) 午後6時30分～午後8時50分

2. 場所

WEB 開催

(東京医科歯科大学医学部附属病院 リハビリテーション部)

3. 理事現在数及び定足数並びに出席理事数及びその氏名

理事現在数 17名 定足数 10名

出席理事数 17名

出席理事 WEB 参加：会長 森島健

副会長 林弘康、千葉哲也、田代文子、池田由美、豊田輝、原島宏明

理事 山手千里、岡安健、中澤幹夫、板倉尚子、知脇希、南雲健吾、

神原舞子、鈴木享之、池田淳子、原田憲二

欠席理事：なし

4. 監事現在数及び出席監事氏名

監事現在数 3名

出席監事 WEB 参加：小野晋、渡邊要一、野本彰

欠席監事 なし

5. 議長

豊田輝 理事

6. 書記

岡村大介, 石毛崇, 野崎智博

7. 議題

会長行動報告ならびに審議事項

理事審議事項

理事報告事項

8. 議事の経過要領及びその結果

参加者間で通信状態を確認し、即時意見交換ができる状況を確認した。

定足数の確認

冒頭で森島会長から定足数の確認があり、本理事会が定款第30条に定める定足数を満たしている事を確認した。森島会長が本理事会の成立を宣した。議事録署名人は定款第31条の規定に基づき、森島会長、渡邊監事、小野監事とし、議案の審議に移った。

第1号議案 会長行動記録(2022年11月25日から2023年1月13日まで)

11/25 拡大理事会へ出席(web)

12/01 組織運営検討委員会へ出席(web)

12/08 丸川珠代氏勉強会へ出席(東京プリンスホテル)

日本理学療法士協会 斉藤秀之会長 私的勉強会へ出席(web)

12/12 武見セミナーへ出席(都市センターホテル)

- 12/16 三役会議へ出席(事務所)
- 12/21 東京都医師会年末懇親会へ出席(パレスホテル東京)
- 12/22 野本監事と打ち合わせ
- 12/23 都道府県士会運営勉強会へ出席(web)
- 01/13 理事会へ出席

【活動に関する説明ならびにお願い】

1. 組織運営検討委員会会議へ出席(12/1)
全てのブロックにおける意見交換会を終えて、今後の対応ならびに運営方法について協議した。
2. 三役会議へ出席(12/16)
 - ・「2023年度事業方針について」「理事懇談会について」「会議費について」「年賀状について」
 - 広報誌について、東京新聞とのコラボ事業について、事務所移転に関すること(1/18引っ越し予定)、その他について協議した。
3. 東京都医師会年末懇親会へ出席(12/21:パレスホテル東京)
コロナ感染拡大で中止が続いていたが、3年ぶりに開催された。300人以上が出席者。参加者全員に抗原検査キットを配布し、事前に出席者全員の陰性を確認したうえで、着席スタイルで開催。コロナ禍での宴席の一つの方法が示されたと感じた。
4. 都道府県士会運営勉強会へ出席(web)
2023年度には、全国知事会と同様の性質をもった都道府県士会長会議(仮称)を立ち上げる予定。JPTAと連携を保ちつつ、士会同士の情報共有を目的に活動していく予定。JPTAに対立する団体ではなく、協会とも良い距離感をもって運営していく予定。
5. ニューレジリエンスフォーラム全国大会の開催案内(添付ファイル参照)
日時:2023年2月20日(月)16時から17時30分
場所:東京・海運クラブ
→TPTAからも積極的な参加をお願いしたい。

第2号議案 理事審議事項

- 1) 選挙管理委員会 森島会長より 定款第4条(11)
 - ・委員会の設置並びに委員会委員長の選出について
スポーツ局と福祉保健局に2つの部門に関連する事業をスムーズに実行していくために新しい委員会の必要性が生じたため。
名称:障がい者の運動支援委員会
委員長:多賀留美(障スポ部部長)
副委員長:工藤弘之(障害福祉部部長)
→特設委員会という形で、東京都の委託事業を受ける。
→予算は今後、事務局と検討。
→挙手にて採決を行ったところ出席理事全員一致で承認された。
- 2) 教材資料部 山手理事より 定款第4条(2)
 - ・教材資料部の知的財産資料返却について
教材資料部では、2020年度までDVD貸出業務を行ってきた。業務の終了とともに過去の教材資料の見直しを行なったところ、数年間貸出に関与していないVHSが60本、貸出を数年行っていたDVDが141枚あることを確認した。VHSに関しては理事会の承認が得られたので2022年度に廃棄事業にて処理した。DVDに関しては、現在教材資料部員の自宅に保管中である。DVDの内容としては現在の教育制度に即していないことや、個人情報や著作権の観点からそのままオンライン学習の資料とすることは出来ないものとなっており、今後どのように処理すべきかご検討をお願いしたい。
→事務局にも段ボール一つ分(VHS, DVD等)の資料が残っている。VHSは来年度の事業費で全て破棄予定。
→学術大会のDVDのみDVDのままとして破棄せずに保存する。それ以外のものは全て破棄をする。

→上記に関して、挙手にて採決を行ったところ出席理事全員一致で承認された。

3) 教材資料部 山手理事より 定款第4条(11)

・教材資料部の部長変更依頼について

2019年度より学術局教材資料部長である佐藤和命氏の都外転勤に伴い、TPTA 会員としての運用が困難となる。

2023年度より、以前担当であった大槻暁氏に部長変更をお願いしたい。

→挙手にて採決を行ったところ出席理事全員一致で承認された。

4) 次年度学会準備委員会 森島会長より 定款第4条(1)(8)

・第42回東京都理学療法学会大会について

開催日時:令和5年9月17日(日)

開催場所(予定):北区 赤羽会館(〒115-0044 東京都北区赤羽南 1-13-1)

開催内容:特別講演・都民公開講座・教育講演・シンポジウム・一般演題発表他

(1) 演題数について

現在口述発表で60演題分のスケジュールを確保した。新制度移行後の認定PT初回更新の際は学会発表免除になっており、42回学会で発表枠を増枠する必要性は低いと考えている。学会会場がコンパクトであることも含めて、口述演題数60題の開催を提案する。増枠が必要な場合はオンデマンド口述枠(外部学会サービス委託)を用いての対応を検討している。

→60演題のみの開催とする。

→今年度よりブロック学会が学会として認められず、TPTAとして演題発表できる正式な場としてはTPTA学会のみとなる。

→今年度から5年間の更新となる。5年以内の更新が必要であり、1回目の更新の際には発表を必須としない。

→演題数に関して、挙手にて採決を行ったところ出席理事全員一致で承認された。

(2) 講演内容 講師 演題応募スケジュールについて (別資料 参照)

講師の要件を確認することが必要。

→講師要件を満たすことを条件に、挙手にて採決を行ったところ出席理事全員一致で承認された。

5) 地域活性局 中澤理事より 定款第4条(1)(3)(4)(5)(8)

・区中央部区南部島しょブロック部 大田区支部 支部長交代

勤務先変更に伴い、下記の支部長の交代の審議をお願いしたい。

山田 学 氏 (蒲田リハビリテーション病院) → 板谷 匠 氏 (牧田総合病院)

→挙手にて採決を行ったところ出席理事全員一致で承認された。

6) 地域活性局 中澤理事より 定款第4条(8)

・来年度以降のブロック学会大会の開催について

今回、区西南部区西部ブロック学会大会を都道府県士会主催学会としてセミナー登録した際に、JPTAより承認されなかった。

以下、JPTAからの回答

新しい生涯学習制度において、セミナー種別「学会大会」に該当する都道府県士会主催学会大会については、都道府県単位の学会大会(貴会では東京都理学療法学会大会)を前提として、学会参加や発表等による履修・更新要件(専門理学療法士新規取得、認定/専門更新点数基準など)等の制度内容を構築しております。支部(TPTAの場合にはブロック)レベルでの学会登録につきましては、セミナー名称を「～学会集會」としていただくことは差支えございませんが、セミナー種別については、「学会大会」ではなく「その他(研修会)」として、実施運営いただきますようお願いいたします。今年度は学会開催に関するマニュアルの整備が遅れ、解釈に相違が生じたことをお詫びいたします。先般整備したマニュアルについては本件に関する明記がございませんでしたので、追記させていただきます。「その他(研修会)」で学会発表を行った場合には、の場合は、認定・専門理学療法士更新点数に該当いたしません。

ご提案として、演題発表部分を「後期研修E 領域別研修(事例)」の士会主催症例検討会に該当するかたちで実施できる演題があれば、後期研修履修中の発表者、前期研修履修中(D-2)および後期研修履修中の聴講者、に対し

て履修の付与は可能です。

→来年度事業でも、ブロック学術大会が計画されている。この学会の開催内容について検討をお願いしたい。

→実施案

①従来の演題発表+講演(その他の研修会)。

その他の研修会として登録、ただしポイントは講演の時間のみ。参加費は研修会基準。

②症例検討+講演。

症例検討会のみで登録し、会員は参加費無料。講演の有無はブロックに任せる。

③症例検討+講演。

症例検討会とその他研修会と2つ登録。当日は2つの参加受付実施。参加費は研修会基準。

④その他

→①、②をブロックに選択できる形で、参加費は会員であればどちらも無料が望ましいか。

→症例検討会のみだと専門・認定理学療法士のポイントには該当しない。ポイント更新を目的とした会員の参加も加味し、ブロック学術大会という名称では講演もあった方が望ましいのでは。

→症例研究と症例検討は異なり、症例研究であれば一つの演題発表に値するので、学術大会という名称が適切か。症例検討はディスカッションの上で臨床に活かすものである印象。

→演題発表の有無で、名称の変更を今後検討する。

→③は事務の業務が煩雑化するが、選択肢としては検討する。

→①、②、③を候補として残し、その中で開催ブロックに選択してもらい、必要な登録をしてもらおう。

→上記に関して、挙手にて採決を行ったところ出席理事全員一致で承認された。

7) 広報局 原田理事より

定款第4条(11)

・事務所移転案内文の確認

事務所移転案内文を添付した。確認をお願いしたい。葉書での郵送を考えているが、意見を伺いたい。

→弊社事務所を本協会事務所へ変更してはどうか。

→地図を入れるか入れないか(入れる場合は封書となる)。

→移転のお知らせには地図は不要と考えられる。

→一月と吉日の間に空白は不要ではないか。

→電話番号とファックスの下部に(従来通り)という記載よりは、横に小さく変更はありませんという記載の方が良いか。

→郵送方法としてはハガキを検討している。

→上記指摘事項について修正を加えた上で、ハガキにて郵送することについて、挙手にて採決を行ったところ出席理事全員一致で承認された。

8) 事務局長 豊田理事より

定款第4条(11)

・新入会について

令和4年11月22日から令和5年1月6日の期間の新規会員数26名。会員数10,127名(令和5年1月6日現在)、在会8,800名(在会=在会会員+入会手続き中会員10名)、休会1,327名。

→挙手にて採決を行ったところ出席理事全員一致で承認された。

9) 渉外関連執行理事 千葉理事より

定款第4条(10)

・ソウル市理学療法士会からの提案について

ソウル市理学療法士会より以下の内容で提案があった。

①現在他国との交流や、ソウル市の資格継続認定のため、学会が多くなり、東京との交流を1年毎(2023年6・10・11月の学会を予定している。この中のいずれかに東京がソウルへ2024年はソウルが東京へ)としてはどうか。

②来訪時には、お互いに施設見学を行ってはどうか

③来年度ソウルへ行った際は7時間(通訳があるので実質3.5時間)の講義を行ってほしいが、可能であるか
今までの30分程度の講義では「よくわからない」との会員からの意見があった。

→今回の7時間の講義は来年度のための依頼。ソウル士会の第一希望は6月18日。可能としても学会のテーマに

- 添えない可能性もあることは了承を頂いた。
→先方からのテーマへの希望は聞かれていない。
→教育関係のテーマはどうか。
→意見交換をできることが望ましい。
→7時間(通訳があるので実質3.5時間)の講義を行う。6月25日に訪韓する。
→テーマ等は今後、先方と打ち合わせを行い検討する。
- 上記①②③に関して、挙手にて採決を行ったところ出席理事全員一致で承認された。

第3号議案 理事報告事項

- 1) 会長 森島会長より 定款第4条(11)
・2023年度 本会事業方針について
基本的には、2022年度重点事業方針の継続とするが、その中においても特に以下に重点を置く。
① 「組織力強化のための組織体制づくり」
② 「地域住民への公益に資する事業の推進」
→詳細は別紙参照。
- 2) 事務局長 豊田理事より 定款第4条(11)
・2022年度理事役員懇談会について
日時:2023年1月27日(金) 18:30~21:00
会場:京王プラザホテル(新宿)本館4階 『花C』
協議議題
(1)2022年度代議員理事意見交換会でのご意見をふまえ、以下の視点について理事役員で協議する。
視点1 組織運営
視点2 広報戦略
視点3 入会促進・退会防止対策
視点4 研修会事業
(2)報告
2023年度 本会事業方針について
2022年度 代議員理事意見交換会について
- 3) 事務局長 豊田理事より 定款第4条(11)
・会員および会員在籍施設への郵送物宛先について(お願い)
各事業において会員宛の郵送物において、お問い合わせや苦情が増えている。以下を厳守するようお願いしたい。
①郵送作業毎に最新名簿を使用する。(以前に使用した名簿は使用しない。)
②施設内PTの代表者宛に郵送する場合、個人名ではなく「理学療法士責任者様」等とする。
- 4)2024年度日研大会長 豊田理事より 定款第4条(11)
・1月8日(日)JPTA理事懇談会での説明&意見報告
JPTA理事懇談会にて現時点での企画書(予算案を含む)を説明した。結果、以下のようなご意見をいただいた。
企画書は、別紙を参照。
〈JPTA理事各位からの意見〉
① 会場貸与料15万円は安価であるため、22~25万円程度で再検討いただきたい。
② 予算書内にある業務委託費の内訳が外部委託費とTPTA会員における費用に区分された形式となるよう再検討いただきたい(金額的なことではなく、形式的な記載方法の変更)
③ 雑費が少ないため再検討いただきたい。
④ 予防領域のプログラムが少ないため可能であれば再検討いただきたい。
⑤ WEBとのハイブリッド開催やオンデマンドについても再検討いただきたい。

- ⑥ 参加費の単価をもう少し安価にできないか再検討いただきたい。
- ⑦ 1日のみの参加者へ対応する参加費設定について再検討いただきたい。
- ⑧ 理学療法士免許を保持しながら医療福祉業界以外で活躍する方を講師とする場合、講師要件を満たすための対応をお願いしたい。
- ⑨ その他情報:2023年度(第58回)、2024年度(第59回)、2025年度(第60回+WPT)

5) スポーツ局 林理事より

定款第4条(11)

(1) スポーツ局・福祉保健局合同会議

日時:2022年11月29日(火)18:30~19:35(ZOOM web 会議)

出席者:スポーツ局/林弘康業務執行理事、板倉尚子局長、信太奈美次長、鈴木享之次長
福祉保健局/田代文子業務執行理事、南雲健吾局長、工藤弘之次長、神原舞子次長

- 議題:1 スポーツ局と福祉保健局の重複部分について
2 福祉保健局とスポーツ局の連携の可能性について
3 装具の支援について
4 その他

(2) 第2回全国スポーツ理学療法運営担当者 WEB 会議

日時:2022年12月17日9時00分~12:00分

出席者:全国都道府試験士会スポーツ理学療法運営担当者(47名) ※出席/鈴木享之次長

- 議題:1 特徴的・先進的取り組みの紹介
育成システム/北海道士会、スポーツ局システム/神奈川県士会
国際競技大会等への準備:愛知県士会、スポーツ協会との連携/島根県士会
国民スポーツ大会への準備/鹿児島県士会
2 各グループ別ミーティング

※上記会議の報告書は森島会長、豊田事務局長および事務局へ提出済み

6) スポーツ局 林理事より

定款第4条(2)(6)

(1) 【報告】土曜学習応援団(防災安全教育:防災サイコロ)/目黒区立宮前小学校

依頼元:目黒区立宮前小学校(東京都目黒区八雲3-13-21)

対象:小学4年生

内容:防災サイコロを使用した防災教育授業

会場:目黒区立宮前小学校

日時:2022年11月25日(月)1~2校時

担当:佐伯潤外部員、板倉尚子局長、鈴木享之次長

(2) 【報告】土曜学習応援団(保健教育:姿勢身体づくり,防災安全教育:防災サイコロ)/豊島区立清和小学校

依頼元:豊島区立清和小学校(東京都豊島区巣鴨3-14-1)

対象:全校児童

内容:1~3年生対象とした姿勢身体づくり及び4~6年生対象とした防災サイコロを使用した防災教育授業

会場:豊島区立清和小学校

日時:2022年12月3日(土)1~4校時

担当:佐伯潤外部員、板倉尚子局長、鈴木享之次長、渡邊祐介部長、斎藤弘樹副部長、森本孝則部員、西垣有希子部員他

(3) 【依頼】土曜学習応援団(保健教育:姿勢身体づくり)/渋谷区立富谷小学校

依頼元:渋谷区立富谷小学校(東京都渋谷区上原1丁目46-4)

対象:第2学年93名

内容:ケガの予防のためのストレッチ指導

日時:2023年02月18日(土)午前中

(4) 【依頼】品川防災フェアへの出展「防災サイコロ」

日時:2022年03月11日(土)

場所:品川区内(しながわ中央公園)他

内容:第38回品川区防災フェアへの「防災サイコロ」出展

※品川区より防災フェアへの「防災サイコロ」の出展依頼があり。

- 7) スポーツイベントサポート部 林理事より 定款第4条(1)
- (1) 【依頼】 杉並区令和4年度障害者スポーツネットワーク(ユニバーサルタイム企画)
依頼元: 杉並区区民生活部スポーツ振興課
企画名: 第2回ユニバーサルタイム
日 程: 3月1日
会 場: 荻窪体育館
内 容: ランウォーク・フリーエリア、体の相談・リハビリエリアでの参加者に対して姿勢や歩き方の指導
や身体評価、運動指導を実施予定。
- (2) 【活動報告】 杉並区令和4年度すぎなみスポーツアカデミー障害者サポーター講座
依頼元: 杉並区スポーツ振興財団
日 程: 12月18日
企画名: はじめの一步
会 場: 高井戸地域区民センター
内 容: 障がい者スポーツ教室の運営。
今後の予定: 1月14日、21日、2月11日、3月4日
- (3) 【活動報告】 東京都フェンシング協会主催大会・関連大会会場サポート
依頼元: 東京都フェンシング協会、江戸川区フェンシング協会、日本フェンシング協会
大会日程: フェンシング滝口杯ベテラン選手権大会(11月23日)
東京都選手権大会(11月26日)
第30回JOCカップ東京都予選会(11月27日)
第21回北岡杯フェンシング選手権大会(12月3日)
2022 高円宮杯フェンシングワールドカップ東京大会(12月9日~11日)
第6回豆フェンサーRyo杯(1月3日)
第30回JOC ジュニアオリンピックカップ(1月5日~8日)
- 会 場: 大蔵第二運動場体育館、駒沢オリンピック公園体育館総合運動場、江戸川区総合体育館
内 容: 会場救護として試合中のケガに対して応急手当、障害予防実施。
- (4) 【活動報告】 青山学院大学体育連合会フェンシング部サポート
依頼元: 青山学院大学体育連合会フェンシング部
日 程: 11月26日、12月10日、17日、1月7日
会 場: 青山学院大学フェンシング場
内 容: フェンシング部の選手に対してコンディショニング及び競技力向上を目的としたフィジカルトレーニングを実施
- (5) 【活動報告】 EDORIKU パラ陸上教室サポート
依頼元: 江戸川区文化共育部スポーツ振興課
日 程: 11月26日
会 場: 江戸川区陸上競技場
参加者: 延べ7名
内 容: 車いす陸上教室の運営補助および、参加者のレーサー車いすへの移乗、シーティング、走行介助や参加者に対してウォーミングアップ、クールダウンを実施する。
- (6) 【活動報告】 第7回パラスポーツフェスタえどがわ
依頼元: 江戸川区文化共育部スポーツ振興課
日 程: 11月19日
会 場: 江戸川区スポーツセンター
派遣数: 2名
内 容: 理学療法士相談コーナーで参加者にあった運動のご提案を実施。
- (7) 【活動報告】 2022 オリンピックデーラン板橋大会
依頼元: 江戸川区陸上競技場

日 程：11月20日

会 場：あずさわスポーツフィールド

参加理学療法士：26名

参加者：405名

内 容：理学療法ブースでの身体組成、足長計測やオリンピックのアテンド、オリンピック競技体験を実施。

8) 国際競技大会・スポーツ理学療法推進部 林理事より 定款第4条(8)

・学生向け研修会『スポーツ理学療法について』開催について

日 時：2022年12月13日(火)・20日(火) 19:00～20:30

場 所：web(zoom)

内 容：スポーツ理学療法について

対 象：都内理学療法士養成校の学生

講 師：板倉尚子(スポーツ局長/日本女子体育大学健康管理センター)

鈴木享之(スポーツ局次長/長汐病院)

渡邊祐介(スポーツ局/浮間中央病院)

生井真樹(スポーツ局/世田谷人工関節・脊椎クリニック)

水石 裕(スポーツ局/杏林大学医学部付属病院)

参加数:延べ102名

アンケート結果：別紙参照

9) 障がい者スポーツ部 林理事より 定款第4条(5)

・知的障がい者サッカーサポート事業 中止報告

(1)知的障がい者のサッカーチーム練習会(年間5回開催)

期 日：令和4年9月1日～

場 所：都立特別支援学校 グラウンド

対象者・参加人数：一般都民20名、理学療法士10名(うち都士会員数10名)

(2)サッカースクール(年1回)

期 日：令和4年10月1日

場 所：都内フットサルコート

対象者・参加人数：一般都民20名、理学療法士20名(うち都士会員数20名)

→障害者の支援を目的として、障がい者雇用をしている大手企業の特例子会社と連携し、年5回のサッカー練習会と、選手の技術向上や、コーチング技術を学ぶため、町田ゼルビアサッカーチーム選手・コーチによるサッカースクールを計画していた。会社側より、コロナ感染拡大防止対策として練習会には参加しない方針になった旨の連絡を受けたため本事業を中止とした。

上記の決議を明確にするため、この議事録を作成し、代表理事及び出席監事がこれに署名押印する。

令和5年1月13日

公益社団法人東京都理学療法士協会 令和4年事業年度第7回理事会